

3月定例会 30議案を審議

震災対応のため3日間短縮

2月23日から3月15日までの21日間、平成23年度一般会計当初予算などを審議する第1回定例会（3月定例会）を市議会議場で開催しました。定例会は当初、3月18日までの24日間を予定していましたが、3月11日に発生した東日本大震災に対応するため、日程を3日間短縮。4会派の代表および10人による一般質問のほか、議案審議などを行い、28の議案を原案のとおり可決しました（2議案は撤回）。ここでは、1月26日に開催した第1回臨時会（1議案を原案のとおり可決）、3月29日に開催した第2回臨時会（6議案を原案のとおり可決）と併せ、3月定例会の主な内容を紹介します。

◆1月26日◆

第1回臨時会

全会一致で可決

◎平成22年度八幡平市一般会計補正予算（第8号）

歳入、歳出それぞれ1億2324万2000円を追加するものです（歳入は地方交付税、歳出は主に土木費の委託料（除雪業務）です）。

問 年末年始の大雪被害対策は。

◆2月23日～3月15日◆

第1回定例会

適任と決定

◎人権擁護委員候補者の推選に
関し意見を求めることについて

答 農業サイドでは、県の補助事業である「いわて希望農業担い手応援事業」を活用したいと考えている。それができない場合は、市単独の助成をしていきたい。

問 人権擁護委員候補者の推選に
関し意見を求めることについて

教育行政運営基本方針と重点演述

近年の社会環境の変化は、国際化、情報化、科学技術の進展や少子・高齢化、核家族化などが著しく進行してきています。その社会の変化に自ら対応できる資質や能力の育成が、教育の大きな課題となっています。また、芸術文化やスポーツなどに関する学習ニーズがますます多様化しており、楽しく学び合い、生きがいと潤いのある生活を実現する生涯学習社会を目指した取り組みが求められています。

市教育委員会としては、国、県の動静と呼応しながら、「21世紀の八幡平市を担う人づくり」を目指し、教育・文化的活動の充実に向けていきたいと考えています。

八幡平市教育長 高橋 北英

施政方針演述

私は、市民の負託を受け、市政の舵取りを担って就任6年目を迎えました。市の将来像である「農と輝の大地」の実現を目指し、平成23年度から5カ年の市総合計画後期基本計画を策定したところであり、その中で、「定住化の促進」「第一次産業の生産力向上」「大更駅周辺のにぎわい創出」「合宿の里づくり」「滞在型観光の推進」の5つの重点施策を展開してまいります。これらの施策に基づき、効果的、効率的な行政運営を計画的に進めるとともに、事業の確実な執行に誠心誠意取り組みますので、重ねまして各位のご支援と市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

本市の優れた生活環境を、ふるさと大使の方々と連携して県内外にPRするとともに、市民が「住みたい、住み続けたい、住んでほしい」と誇りに思うまちづくりに努めるとともに、「開かれた市政」と「住民の満足度」をさらに高めるために、対話の行政をなお一層展開してまいります。

八幡平市長 田村 正彦



演壇で施政方針を述べる田村正彦市長（2月23日）

6月30日で任期が満了する高橋悦子さん（野駄）と伊藤政子さん（松尾寄木）を、再び人権擁護委員候補者として推せんしようとするものです。



高橋悦子さん



伊藤政子さん

全会一致で可決

◎八幡平市優良牛導入資金貸付基金条例

優良な乳用牛、肉用牛を導入する農業者に対し資金の貸し付けを行うため、当該基金を設置するものです。

◎八幡平市家畜診療所条例を廃止する条例

平成23年3月31日で、市家畜診療所を廃止するものです。

◎八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例

例の一部を改正する条例
平成23年4月1日から国民健康保険被保険者が出産したとき、その被保険者の属する世帯の世帯主に対し、出産育児一時金として39万円を支給するものです。
（注）これは、平成21年10月1日から23年3月31日までの間、暫定的に35万円から39万円に引き上げていたものを本施行するものです。

◎八幡平市農業委員会条例の一部を改正する条例
市農業委員会の選挙による委員の定数を30人から26人に改正しようとするものです。

問 4人減の理由は何か。
答 農業委員の自主的判断の中から出てきたもので、検討委員を選任して議論した後、農業委員全員に諮り、委員会としての結論になった。

◎平成22年度八幡平市一般会計補正予算（第9号）
歳入、歳出それぞれ3億6068万8000円を追加するもので、歳出の主なものは次のとおりです。（1万円未満は切り捨て）

- ▼農と輝の大地基金積立金 1億4434万円
- ▼財政調整基金積立金 1億2210万円
- ▼農業用排水路等改修業務委託料 3350万円
- ▼八幡平景観保全工事など 2846万円
- ▼市道等軽舗装工事など 3384万円
- ▼松野小学校プール改修工事など 3697万円

問 計画的に予算執行を進めるべきだ。
答 予算の執行管理については毎月の電算データなどを参考にしながら、担当課と財政課の連絡を密にして進めていく。

問 「きめ細かな交付金」と「住民生活に光をそそぐ交付金」の内容は、どのようなものか。
答 前者は、観光地の電線の地中化など、地域活性化に資する事業、後者は、地方消費者行政、DV（同居関係にある配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力）対策、自殺予防などの弱者対策、自立支援、知の地域づくりに対する地方の取り組みを支援する事業である。

◎平成22年度八幡平市公共



公共下水道工事により汚水管の布設が進んでいます（平館地区内）

下水道事業特別会計補正予算（第5号）

問 繰越明許費を8300万円ほど組んでいるが、内容の説明がない。説明すべきである。

答 今回繰り越すものは、12月を過ぎてからの予算であり、工期が取れないため、2件ほど繰り越すものである。

◎平成22年度八幡平市水道事業会計補正予算（第5号）

問 水道メーター検針について、雪が多くて危険な作業になる自治体では、冬期の検針を行っていない所もあるようだがどうか。

答 本市でも、雪が多くてメーター確認ができない場合は、認定要綱を定めており、前2カ月の平均水量で料金をお願いしている。

議案を撤回

◎普通財産の無償貸付に
関し議決を求めることについて

撤回理由 貸し付けする財産の所有者として、災害などの事故が発生した場合の責任の所在についての質疑に対し、明快な答弁ができかねることから、その内容を精査するため。

◎西根老人憩の家に係る指定管理者の指定について

撤回理由 非公募条件としている公共的団体の解釈に疑義が生じたため。

◆3月29日◆

第2回臨時会

全会一致で可決

◎普通財産の無償貸付に

関し議決を求めることについて

問 平成23年度への繰越予算で西根中学校の耐震改修事業を実施しようだが、今回の大地震のことも考慮して、かさ上げの助成の事業を5年間延長すると報道されている。国の助成制度を活用していく考えは。

答 その方策について検討を始めているところである。

◎平成23年東北地方太平洋沖地震による災害に係る被災者に対する入湯税の課税の特例に関する条例

当該地震による災害の被災者が避難した際、市内の鉱泉浴場へ入浴した場合、入湯税を課さないこととするものです。（平成24年3月31日までの措置）

◎普通財産の無償貸付に

関し議決を求めることについて

23年度一般会計は172億5,300万円

前年度比8.5%の増 — 合併後の最高額 —



第1回定例会最終日（3月15日）

3月10日から14日まで、予算特別委員会（小野寺昭一委員長、遠藤公雄副委員長）を議場で開催しました。議長を除く議員23人で構成するこの委員会では、平成23年度一般会計当初予算（総額172億5,300万円）のほか、特別会計6会計、企業会計2会計の23年度当初予算を審議。全て原案のとおり可決しました。ここでは、予算委員会での主な質疑などを紹介します。

※3月15日の本会議で、一般会計当初予算は賛成多数で、それ以外の会計は全て全会一致で、原案のとおり可決しました。

各会計の当初予算額

（金額は1万円未満を四捨五入）

会計名	23年度予算額	22年度予算額	伸率(%)		
一般会計	172億5,300万円	158億9,790万円	8.5		
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	33億2,194万円	35億952万円	△5.3	
	後期高齢者医療特別会計	2億2,806万円	2億2,523万円	1.3	
	老人保健特別会計	0万円	584万円	△100.0	
	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	3億527万円	3億788万円	△0.8	
	公共下水道事業特別会計	6億2,404万円	6億1,154万円	2.0	
	農業集落排水事業特別会計	9億5,126万円	12億7,636万円	△25.5	
浄化槽事業特別会計	5,868万円	5,556万円	5.6		
企業会計	西根病院事業	収益的収入・支出	7億1,926万円	6億9,505万円	3.5
		資本的収入	3,813万円	1,872万円	103.6
	水道事業	資本的支出	5,097万円	2,574万円	98.0
		収益的収入	5億4,582万円	5億3,769万円	1.5
	水道事業	収益的支出	5億4,528万円	5億2,775万円	3.3
		資本的収入	1億4,778万円	1億8,726万円	△21.1
水道事業	資本的支出	3億7,099万円	3億7,166万円	△0.2	

一般会計歳入

子ども手当の市負担額が約5380万円である。有利な起債として合併特例債や過疎債などがあるが、これらの起債枠は決まっているのか。

在庫販売に努めてほしい。未購入の方や市外に住む方に対してPRする。

一般会計歳出

市職員に地域活動に参加してほしい。市の考えは、消防団員をはじめ、各種団体の事務局などさまざまな役割で活動する職員は多い。地域振興協議会の役割が大きくなっており、会

民生費

老人クラブの現状と、シルバー人材センターの事業内容は。

老人クラブは7クラブ休止して、70クラブと

なっている。シルバー人材センターは会員数174人で、総事業費4000万円

ほどである。いろいろな職種の方から登録いただいて多様な事業を行っている。

松尾地区の保育所の再編計画はどうなっているか。

今後、全体の中でどうあればいいのか、再検討していきたい。

【財政用語・一口解説】

一般会計：税を主な収入源とし、福祉や教育など基本的施策を行うための会計

特別会計：公共下水道事業など特定の事業を特定収入（使用料など）で賄う場合に、その経理を一般会計から区別するために設けられた会計

企業会計：主にその事業収入で賄うことが求められる事業を管理するための会計（西根病院事業、水道事業）

歳入：市に入るお金

自主財源：市税など市が独自に集めるお金

依存財源：地方交付税や国庫（県）支出金など、国や県の意思により定められ、交付されるお金

地方交付税：所得税など国税から財政状況に応じて交付されるお金

市債：建設事業などを行うために市が借りるお金（市の借金）

歳出：市が使うお金

公債費：市債を返済するために支払うお金

請願1件は継続審査

3月定例会では、請願1件、陳情1件を審査。その結果、1件を継続審査とし、1件を不採択とすることが決まりました。

教育民生常任委員会が審査

◎保険料の値上げに直結する国保「広域化」に反対する意見書採択を求める請願（岩手県社会保障推進協議会 代表者・高橋八郎ほか2団体）

この請願は、保険料の値上げに直結する国保広域化を中止することなどを求める内容です。

結果 なお慎重な審査を必要とするため、継続審査としました。

◎「福祉灯油」の実施を求める陳情（岩手県生活協同組合連合会 会長理事・加藤善正ほか1団体）

この陳情は、社会的・経済的弱者救済策として、「福祉灯油」の実施を求める内容です。

結果 委員会審査報告のとおり、「不採択」と決定

理由 灯油の価格は上昇しているものの、「福祉灯油」を実施した平成19年度および20年度と比べ価格上昇の影響額は低く、今回の場合、市民生活に及ぼす影響は少ないものと判断したため。

議会の動き (12月10日から3月28日まで)

12月

- ▶10日～17日 平成22年第4回定例会
- ▶10日 議会広報特別委員会
- ▶12日 八幡平市国際交流協会クリスマス会
- ▶14日 教育民生常任委員会
- ▶14日 産業建設常任委員会
- ▶16日 議会運営委員会
- ▶17日 議会議員全員協議会
- ▶21日 田山スキー場開き
- ▶24日 八幡平市農業委員会委員協議会忘年会
- ▶27日 議会広報特別委員会

1月

- ▶3日 平成23年八幡平市消防出初式、祝賀会
- ▶6日 議会運営委員会
- ▶7日 第22回全日本公認田山クロスカントリー大会開会式
- ▶7日 商工会法施行50周年記念「新年交賀会」、平成22年度永年勤続優良従業員等表彰式
- ▶8日 平笠裸参り
- ▶8日 新春交通安全祈願祭（松尾交通安全協会主催）
- ▶8日 平成23年荒屋地区新年懇話会
- ▶9日 平成23年八幡平市防犯隊・交通指導隊合同初点検、懇談会
- ▶12日～13日 平成22年度岩手県市議会議長会臨時総会
- ▶14日 平成23年八幡平市企業懇談会・商工会工業部会合同新年交賀会
- ▶21日 大地の恵みを味わう会～2011～
- ▶24日 議会広報特別委員会
- ▶25日 市議会議員・農業委員会委員研修会、交流会

2月

- ▶3日 全国市議会議長会基地協議会第74回総会
- ▶4日 平成22年度岩手大学地域連携フォーラムIN八幡平市

- ▶6日 八幡平市西根地区芸能まつり
- ▶6日 平成22年度全国高等学校総合体育大会第60回全国高等学校スキー大会開会式
- ▶14日 第16回松ちゃん市場販売組合総会
- ▶14日 神奈川県秦野市議会緑水クラブ会派行政視察
- ▶16日 広域行政圏市議会協議会第42回総会
- ▶16日 八幡平山ぶどうワインパーティー
- ▶17日 全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会、第37回定期総会
- ▶17日 平館岩友会懇親会
- ▶18日 平成23年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会
- ▶20日 平成22年度健康づくり推進大会
- ▶20日 「E5系・はやぶさ」試乗会
- ▶21日 議会運営委員会
- ▶22日 平成23年2月盛岡地区広域行政事務組合議会定例会
- ▶2月23日～3月15日 平成23年第1回定例会
- ▶23日 平成23年2月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ▶27日 第4回八幡平市男女共同参画フォーラム

3月

- ▶4日 議会広報特別委員会
- ▶4日 なかやま荘地産地消と感謝の集い2011
- ▶6日 平成22年度自衛隊入隊(校)予定者激励会
- ▶7日 産業建設常任委員会
- ▶8日 教育民生常任委員会
- ▶9日 議会運営委員会
- ▶9日 議会議員全員協議会
- ▶10日 議会運営委員会
- ▶10日～14日 予算特別委員会
- ▶13日 市議会運営に係る協議
- ▶14日 議会運営委員会
- ▶18日 平成22年度田頭小学校卒業証書授与式
- ▶20日 高森集落農家組合等合同総会
- ▶22日 会派代表者会議

衛生費

問 自殺予防対策の内容は。
答 市内の自殺者は、平成16年から21年までの平均で年間13・8人と、県内でも高い状況にある。自殺対策事業計画を作成し、さまざまな事業に取り組んでいる。相談窓口には専門相談員を配置し、地区にはゲートキーパー（地域や職場、教育などの分野で、自殺のサインに気付き、見守りを行い、専門相談機関の相談へつなぐ役割が期待される人材）を養成するなど、対策を展開している。

土木費

問 大更駅周辺および隣接地域の環境整備基本設計策定業務と懇話会、ワークショップとの兼ね合いは。
答 市民目線の環境づくりや地域づくりの活性化に向け、懇話会、ワークショップと並行して環境整備基本計画書を作り上げるものがある。

教育費

問 田山中学校の統合問題について、基本的な対応は

討論

賛成 立花安文議員

市の将来像「農と輝の大地」の実現に向けた施策として、ほうれんそうの大規模生産団地候補地調査、優良牛導入資金貸付基金の創設、滞在型観光に取り組みための計画策定など、市民生活を支援する総額17.2億円余の予算は、合併直後の平成18年度以降最大規模であり、市民の付託に応えるものと評価する。

平成23年度の主な事業

(数字は予算額。1万円未満を四捨五入。継続と記載したもの以外は新規事業)

- 自然と共生する、快適な住環境のまちづくり
西根・松尾地区コミュニティバス試験運行補助金《3,886万円》
一般国道282号道路改築事業《3億833万円》
大更駅周辺および隣接地域の環境整備基本計画策定業務委託《662万円》
住宅リフォーム支援事業《2,000万円》
橋梁長寿命化計画策定業務委託《2,600万円》

連携によって築く、躍進する産業のまちづくり

- 飼料用米等貯蔵施設整備事業費補助金《1,950万円》
ほうれんそう大規模生産団地整備事業《600万円》
優良牛改良基金造成事業補助金《2,000万円》
滞在型観光振興計画策定業務委託《1,000万円》
焼走り駐車場トイレ整備事業《2,289万円》

健やかな、創造性あふれる人材のまちづくり

- 自殺予防相談窓口設置事業《177万円》
あしろう学童整備事業《4,612万円》
西根中学校校舎改修事業《1億9,157万円》
松尾地区コミュニティセンター整備事業《4億3,408万円》
庁舎建設事業《1億1,044万円》

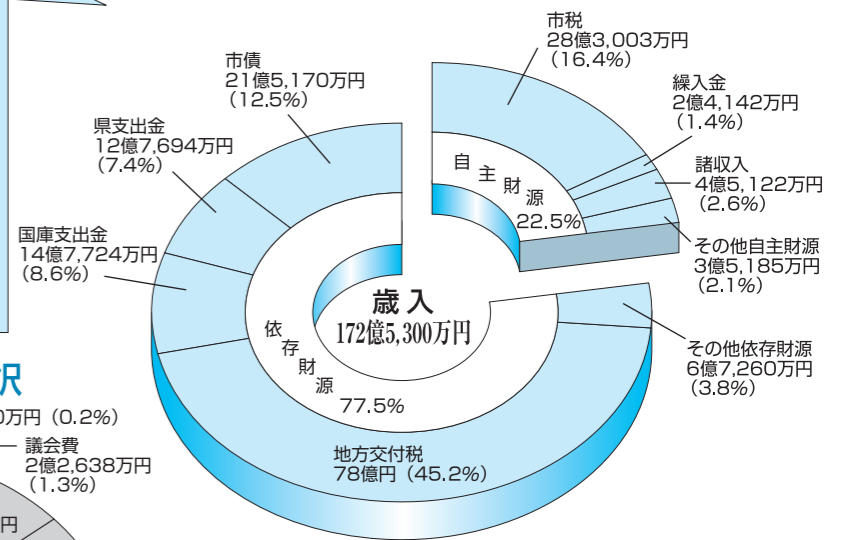
特別会計

浄化槽事業特別会計
合併浄化槽設置者の改良区の施設に対する放流に對し、市の支援はないか。
答 市での対応はまだ引き続き検討が必要である。

総括質疑

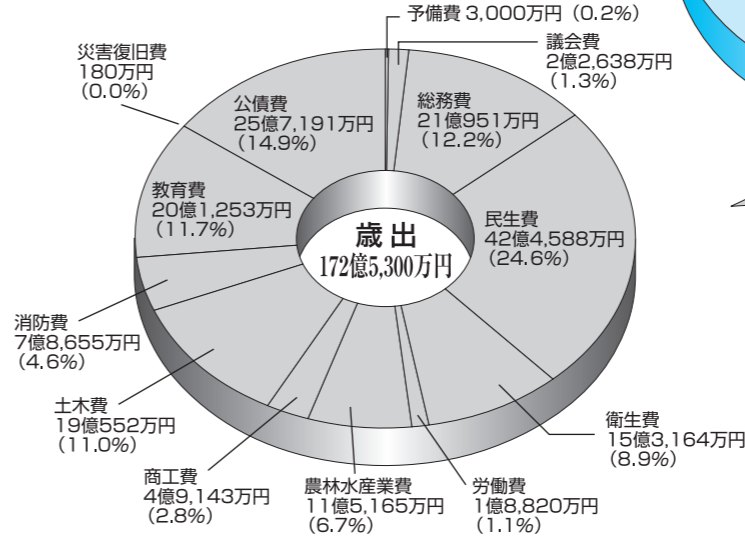
問 販売額8億円を目指す上でも担い手は重要であり、新規就農者から大規模生産のグループに参加してもらおうと門戸を開いている。
問 焼走りの湯のチップボイラーは10年をスパンに考えるべき。市長の考えは。
問 今年度の飼料用米の作付面積は。牛や養鶏業者にも供給するのか。
問 滞在型観光の振興計画策定とあるが、具体的には。
問 産業遺産である松尾鉾山周辺の観光ルートを整備し、滞在型に結びつけるなど、今後5カ年の振興計画を策定するものか。

平成23年度一般会計歳入の内訳



歳入のあらまし
23年度一般会計歳入の中で一番の割合を占めるのは、地方交付税の78億円(45.2%)で、次いで、市税の28億3,003万円(16.4%)、市債の21億5,170万円(12.5%)などの順となっています。
歳入を財源別にみると、自主財源が38億7,452万円(22.5%)、依存財源が133億7,848万円(77.5%)で、自主財源比率が22年度と比較して2.3ポイント低下しました。

平成23年度一般会計歳出の内訳



歳出のあらまし
23年度一般会計歳出の中で一番金額の多いものは、民生費の42億4,588万円(24.6%)、次いで、公債費の25億7,191万円(14.9%)、総務費の21億951万円(12.2%)などの順となっています。歳出全体としては22年度と比べ、13億5,510万円(8.5%)の増額となり、17年9月の町村合併以降で最大の予算規模となりました。
歳出を性質別にみると、22年度と比べ、普通建設事業費が大幅に伸びています。

ズバリ 市政を問う

次ページからの一般質問「目次」です(質問者の前にある数字は、掲載しているページです。)

- 8 9 新生会 田村 孝 代表
10 11 自由クラブ 関 善次郎 代表
12 13 八起会 高橋 守 代表
14 15 緑松会 高橋 光 幸 代表
16 北口 和 男
17 渡辺 義 光
18 工藤 直 道
19 高橋 喜代春
20 渡邊 正
21 米田 定 男
22 工藤 剛
23 三浦 侃
24 高橋 悦 郎
25 田中 榮司夫